

[社会教育施設（公民館）との連携事例]

## 社会教育施設（公民館）と連携した学校支援地域本部～通称：学校応援団～

滋賀県蒲生郡 竜王町／竜王町学校支援地域本部

### 活動の目的・概要

- ひとづくりまちづくりの拠点である公民館（町内に1館）の中に、学校支援地域本部を設置し、公民館長、統括マネージャー1名及びコーディネーター5名体制で、各学校単位でなく、町全域（町内5校園）の学習支援をコーディネートしています。
- 支援の対象を町全域としたことで、支援分野が広範囲におよぶことから、地域ボランティアの人材確保にスケールメリットが生きることとなります。

#### 体制図



### 活動の特徴・工夫

- 円滑な学校応援団（学校支援地域本部）活動を図るため、平成23年度に、町内全域の地域ボランティアと学校・園をつなぐパイプ役として、統括マネージャーを配置しました。
- 統括マネージャーとコーディネーターが、月に1～2回、学校・園からの依頼や要望の検討をしたり、意見交換等を行う場として、学校応援団定例会を設けています。
- 統括マネージャーとコーディネーターが支援時の様子を見学し、地域ボランティアからの意見を聞くようにしています。
- 社会教育主事の資格を持った公民館長がパイプ役となり、地域の多様な経験や技能を持つ人材や公民館利用団体等と連携した学習支援を実施しています。公民館で学校支援にもつながる分野の講座を開催し、地域ボランティアの人材確保と人材育成を図っています。平成27年度は、『水墨画』の自主活動グループが、竜王中学校1年生の美術の授業で水墨画の指導補助を行いました。
- 地域から学校への支援にとどまらず、地域ボランティアの方々を幼稚園や小学校の感謝祭（子供たちが田植えや稲刈りを行い収穫したお米を使ったイベント）や収穫祭（ボランティアの指導により子供たちが育てた大根を使ったイベント）に招待するなど、「学校から地域への交流活動」を行っています。



学校応援団定例会の様子



水墨画グループによる学習支援  
(竜王中学校1年生・美術)

### ■ 立ち上げ当時

○竜王町では、平成22年10月から文部科学省の支援を受け「竜王町学校支援地域本部事業」を立ち上げました。これまでも学校では、ゲストティーチャーとして地域の方々の協力を得ながら学校支援を進めてきましたが、この事業では、「統括マネージャー」と「コーディネーター」を配置することで、多様な経験、知識、特技などを持った地域の方々と学校・園が支援して欲しいことを結びつけることができ、今まで以上に、地域の方々が学校・園で活躍できるようになりました。初年度には、竜王小学校で、図書ボランティアの会議を、生涯学習課課長、校長、コーディネーター、地域ボランティアで行いました。



竜王小学校・図書ボランティア会議

### ■ 展開・現在

- 立ち上げ当初は、週に一度、統括マネージャーが小学校職員室に駐在をして、どの様な支援ができるか等の打ち合わせをしていましたが、現在は学校・園からFAXや電話で支援の依頼があり、必要に応じて打ち合わせを行っています。
- 近年は、小・中学校の家庭科の授業支援や、小学校・幼稚園での講演会や参観日等の託児支援の依頼が多く、地域ボランティアにお願いしています。
- 新たに地域ボランティアを募集するだけでなく、口コミで地域ボランティアが増えています。託児支援では、今まで幼児がいるため行事等に参加できなかった保護者から喜びの声が届いています。



竜王西小学校・託児の様子

### ■ 今後の展望・課題

- 地域ボランティアの高齢化に伴い、次の世代へ移行することと、支援依頼が同一の人に集中しないように、広く地域ボランティアの人材確保をしたいと思います。年2回、全戸配付している『応援団だより』で支援の様子を伝えたり、地域ボランティアの募集を行っています。
- 平成26年に、竜王小学校のコミュニティ・スクールが立ち上がり、その母体として学校応援団の働きは非常に大きい存在です。今後も『開かれた学校、地域の子は地域で育てよう』を合言葉に、地域と学校が連携・協働し、学校応援団の活動を推進して行きたいと考えています。



応援団だより